

## 2 上手に断る

### SST 指導者（教師）

### ポイント

#### ウォーミングアップ

おはようございます。  
これから、ソーシャルスキル・トレーニングを始めます。  
王様じゃんけんをします。先生とじゃんけんをして負けた人とあいこの人は座りましょう。最後まで勝ち残った人が王様です。

子どもが、これから始める SST に楽しく参加できるように、学級の実態に合わせてゲームや話をしてウォーミングアップをします。みんなが穏やかな気持ちでトレーニングに参加できるようにしましょう。

#### モチベーション

今日のテーマは「上手に断る」です。

友達に頼まれて、断りたいのに断れなくて困ったことはありませんか？※1

自分も相手も嫌な思いをしない上手な断り方ができるといいですね。

断る時の気持ちや断りにくかった経験について、出し合います。断ることの難しさについて、共感できるようにしましょう。

※1 「強い言い方で断ってしまい、けんかになってしまったことはある？」「その時はどんな気持ちだった？」など具体的に聞くこともいいですね。

#### モデリング

あなたは、昨日、お母さんから「恐竜図鑑（〇〇〇）」を買ってもらい、夢中になって読んでいました。そこに、友達のA君が来て、「うわあ、おもしろそう。今日、この本かして。」と言いました。三つの断り方をやってみますので、よく見ててください。A君役はB先生にやってもらいます。※2

どのように違いましたか？※3

ポイント  
表情：やわらかく  
声：はっきり  
目線：目線を合わせて  
姿勢：相手に向けて  
身振り手振り

※2

1回目：「いやだよ。なんで貸さないといけないの。買ってもらえばいいでしょ。  
（強く断るモデル）」

2回目：「ええ…。うん。わかったよ。」  
（従うモデル）」

3回目：「A君ごめんね。貸したいけれど、僕も、まだ読んでいないんだ。だから今日は貸せないよ。読み終わったら貸すよ。」（上手に断るモデル）」

一つずつモデルを示して違いに気付くことができるようにします。

※3 表情や声、目線、姿勢や身振り手振り等、子どもの気付きを共有しながら、上手な断り方のポイントを確認します。言われた時の相手の気持ちを考えることも大切です。

ポイントは板書や模造紙に残し、確認できるようにします。

※4 一人一人のロールプレイの後によいところを伝え、フィードバックを行います。

できないときは「パス」してよいことを伝えましょう。

（例）

すてきな笑顔でしたね。

相手を見ていましたね。

優しい伝え方でしたね。

上手な断り方ができた友達に拍手を贈りましょう。

※5 取り組んだことを認め、励ますとともに、継続して取り組むことが重要です。

※6 子どもから事例が出てこなかった時には、教師が見取った子どもの姿を伝えましょう。できないことを叱るのではなく、練習して、できたことを褒めることで、よりよいコミュニケーションの意欲付けを図り、子どもの健やかな成長につなげていきます。

#### ロールプレイ

上手な断り方を順番に練習してみましょう。先生がA君役をやりますね。※4



#### チャレンジ

今日のように、上手な断り方ができたときには、先生に教えてくださいね。※5

#### 振り返り・価値付け

（数日後）うまく断ることができたことはありましたか。※6